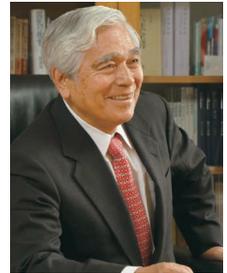




狭山ヶ丘通信

本校の実情をお知らせし、教育問題、社会問題等に関する本校校長小川義男の見解などをお読みいただくため「狭山ヶ丘通信」を発行いたしております。また、本校ウェブサイトにてバックナンバーもご覧いただけます。https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/ 〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢981 TEL:04-2962-3844 FAX:04-2962-0656 狭山ヶ丘学園 広報部



狭山ヶ丘高等学校
狭山ヶ丘高等学校附属中学校
校長 小川義男

耐え抜くことこそ、 必要な力だ。

青年の心は移ろいやすい。それは理解できる。しかし、同じ環境に生き抜く大切さもしっかり育成しなければならぬのではないか。

ジョン・ペインに「我が家のようなところはない」という言葉がある。それに強く同感しながらも、若き日の私は変化を求め続けた。

しかし、高校時代の同期たちの中で、大きく成功したのは、家が移転せず、六年間同じところに生活した仲間たちだったように思う。

一人の秀才は、女学校の教師の息子であった。彼の父は、勤務する女学校の教師として、生涯を送った。その息子が、六年間、首席を維持し続け、京都大学に進学した。予備校など思いも及ばぬ田舎の中学校での話である。大成すると思っていたが、瀬戸物会社の社長になった。「京大の同期の女子学生の家に、養子にでも入ったのかなあ」と思ったが、その後の音信はない。

もう一人は、どちらが首席か分からぬほどの秀才だったが、我々の学校の校長の息子であった。やはりよくできた。高校卒業後、彼は北大に進み、在学中に司法試験と国家公務員上級職試験の双方に合格した。駅で私と出会い、「どちらにしよう

か迷っている」と嬉しそうに話した。私は、当時、四年遅れて大学に進学していたのだが、彼に驕りの気配は全くなく、昔同様に、私に接してくれた。私は、彼の人の奥行きに深くに感銘を受けた。順風満帆とは、彼のような人生をいうのだと思った。

人は様々な環境に生きる。それに耐えて、しっかりと生きなければならぬと思う。

私の少年時代、中学校や女学校に進学するには、経済的にも学力的にも、極めて大きな困難に直面した。

上級学校に進学するということは、それほど大きな恩恵と考えられていたのである。就業人口において、農業が占める割合が高い時代に、女性が高等学校に進学することは、ほとんど不可能であった。若い女性は、農村にあって極めて重要な労働力だったからである。男性であっても小学校六年、あるいは新学制に変わった後にも新制高等学校に入ることは極めて困難だった。

今は違う。一般の高等学校に進むことは極めて安易、簡単、確実であり、そこから学ぶ環境が存在するのではないかとこの期待が生まれやすくなってきているからである。

非難するつもりはない。若者とは、環境に関して極めて移ろいやすい期待を抱くものである。私自身、それを実感していたからである。

国家、あるいはその中枢を担う政治家諸君の中に、生徒や保護者の持つ、このよくな安易さに媚びる傾向が近頃、強くなってきた。

まあ、彼らにとって大切なのは、国家あるいは国民というよりは、自らの政治的地位の安泰であるからなのであろう。

卑劣なテロ行為に 断固反対する。

ここまで筆を進めてきて、安倍元総理が、奈良市で殺害されたという報に接した。安倍氏とは二度ほど一緒に「呑んだ」(御馳走になった)ことがあるし、演説も一緒に数回行ったことがある。

今回のテロに関して、奈良県警の警護に落ち度があったことは否定のしようもない。安倍氏の背後は、全くがら空きの状態であった。テロを誘発する状況だったとさえいえる。壇上の話者は、背後は警備陣に任せきっている。少なくとも背後は防弾完備の壁で覆うべきである。倒れたのは警備の者は、覆いかぶさるなり、拳銃を擬して次の犯行に備えるべきである。奈良県警にその備えは皆無であった。守らねばならないのは、世界的スケールの大政治家である。呆然と第二弾を許すとは、これこそ裁かれるべき第二の課題だと私は思う。

安倍氏はプーチン氏とも昵懇の仲であった。彼は安倍氏訃報に接し弔電を発した。千日続く紛争はない。多少利用された感がないではないが、日露関係を回復するためには、安部氏、プーチン氏の人間関係が枢要であったと私は思う。安倍氏が政治家だったとは私は思うが、日露関係の回復のためにとりわけ欠かせない人物であったことは疑いない。奈良県警の警備失態は、厳しく追及されなければならぬ。

昭和三十五年十月十二日、日本社会党党首であった浅沼稻次郎は十七

歳の少年に、壇上で刺殺された。浅沼氏とは面識もあるが、あのテロも絶対に阻止できる筋のものであった。

第二十七代総理大臣の濱口雄幸は、昭和五年十一月十四日に東京駅で狙撃された。記者は担架に乗せられ苦悶する濱口総理に「閣下、総理として執務中に狙撃された心境は、いかがでありますか」と尋ねた。濱口総理は、苦悶の中で「うむ、男子の本懐じゃ」と応えた。助かる可能性もあったが、野党の不当な要求により、医師の指示を拒否し、答弁に立った。その顔は「幽鬼のようだった」と言う。それが原因となり濱口総理は死す。彼は国政上、私がかつとも尊敬する宰相である。

名相であった安倍氏は、まだまだ政界で活躍したかったであろう。私は対ロシア政策に関しては、彼と見解を異にするが、その無念は理解できる。

夏休みを有意義に、 完全燃焼せよ！

夏休みが近い。諸君は、人間の基礎的資質に甲乙はないことを信じて若き夏の完全燃焼に努めてもらいたい。

夏を燃える者は、明日の勝利を獲得する。

人生に、学問に、特別席はない。今の環境を足場として、完全燃焼を遂げるのだ。

本校を進路として検討してくれる受験生諸君、頑張ってください。

学校説明会でお会いしよう。

暑い夏だが、体育館で待っている。校長室に相談に来られることも歓迎する。



2022年度 学校説明会・個別相談会のお知らせ

本校ウェブサイトでのご予約は、説明会開催日3週間前の9時から3日前の23時59分まで受け付けております。

※今後の状況により、学校説明会の日程や内容、詳細情報が変更になることがあります。最新情報は本校ウェブサイトをご覧ください。※

高等学校見学説明会

本校ウェブサイトよりご予約いただくと、当日スムーズにご案内できます。(予約なしの当日参加も可能です。)

第2回 **8月28日** 日
10:00 開始
スクールバスの運行があります

	実施日	開始時間
第3回	9月18日(日)	10:00開始
第4回	10月16日(日)	
第5回	11月27日(日)	



- ・学校長挨拶並びに本校概要説明
- ・入試要項説明・質疑応答・個別相談(予約制) ・わかりやすい!と大好評!「教科別ガイダンス」を行います

※個別相談会に参加される方は、事前に本校ウェブサイトから相談用紙をプリントアウトして記入してお越しください。

高等学校 入試個別相談会

本校ウェブサイトよりご予約いただくと、当日スムーズにご案内できます。(予約なしの当日参加も可能です。)

第1回 9:00開始 **7月31日** 日

	実施日	開始時間
第2回	9月25日(日)	9:00開始
第3回	10月30日(日)	

	実施日	開始時間
第4回	11月19日(土)	14:00開始
第5回	12月10日(土)	
第6回	12月17日(土)	9:00開始
第7回	12月26日(月)	



スクールバスは運行いたしません

付属中学校見学説明会

本校ウェブサイトよりご予約いただくと、当日スムーズにご案内できます。(予約なしの当日参加も可能です。)

第2回 **9月11日** 日
10:00 開始
スクールバスの運行があります

	実施日	開始時間
第3回	10月15日(土)	14:00開始
第4回	11月5日(土)	
第5回	12月3日(土)	



- ・学校長挨拶並びに本校概要の説明
- ・入試要項説明・質疑応答

付属中学校 オープンスクール

小学生対象 **8月20日(土)** 10:00から開始
要WEB予約

校内見学ツアー

入試個別相談

体験授業

※詳細は本校ウェブサイトにてお知らせします。

学校見学説明会当日は2駅よりスクールバスを運行いたします。

西武新宿線
入替
東口より
約15分
西武バス折り返し所

JR八高線
箱根ヶ崎
西口より
約20分
送迎バス④乗り場

駐車スペースがないため、車でのご来校はご遠慮ください。詳細は本校ウェブサイトをご覧ください。

HP 狭山ヶ丘学園 検索



どんどん進化中! 狭山ヶ丘学園公式ウェブサイト

スマホやPCで本校の特徴ある28カ所の施設を360°ご覧いただけるVRツアーを公開しております!

学校公式ウェブサイトへは、こちらからどうぞ!



https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/



総合グラウンドが大幅にグレードアップ!!

本校の総合グラウンドが大きな進化を遂げました。

今回は野球場をリニューアルしました。土壌の改良により水捌けが圧倒的に良くなり、ナイター用の照明が新設され、安全性も増しました。

これにより、部活動でグラウンドを使用する生徒にとって最適の環境が整いました。



グラウンドの進化の歩み

- 1991 (平成3)年
総合グラウンド完成
- 2014 (平成26)年
新総合グラウンド完成
- 2020 (令和2)年
新管理棟「義学館」完成
- 2021 (令和3)年
3月に新野球場完成



本校ウェブサイトにてグラウンドを含む28ヶ所の施設をVR(360°カメラ)で体験していただけます!!

総合グラウンドへのアクセス 〒358-0014 埼玉県入間市宮寺136-1 ※校舎とは場所が異なります。

3年ぶりに
2日間開催!
(予定)

第62回 狭丘祭

～咲き誇れ 笑顔の芽 つなごう狭丘祭～

9/ 10 (土) 10:00~15:00 (最終受付 14:30)

9/ 11 (日) 9:30~15:00 (最終受付 14:00)

※一般公開を行うかについては、今後の状況を慎重に検討しながら8月下旬ごろにお知らせします。本校ウェブサイトをご覧ください。

3年ぶりに狭丘祭を2日間開催します。ただし、昨今の新型コロナウイルス感染症まん延状況から、一般公開については現在慎重に検討を進めております。詳細につきましては、8月下旬ごろに本校ウェブサイトにてお知らせしますので、そちらをご覧ください。

狭丘祭運営本部長(生徒会長) [年組] [中学校出身]

今年度は、アフターコロナとして初めての狭丘祭となります。昨年度の狭丘祭は、新型コロナウイルス感染防止のため、多くの制限をかけての縮小開催となりましたが、先代の生徒会役員や全校生徒、先生方のご努力によりとても素晴らしいものとなりました。今年は、私にとっても全校生徒にとっても初めての大きな狭丘祭です。固定観念に囚われるのではなく、アフターコロナ時代にふさわしい新しい狭丘祭を全員で創り上げていきます。ご期待ください!

第62回 狭丘祭

※イラスト [年組] [中学校出身]

狭丘祭運営副本部長(行事委員長) [年組] [中学校出身]

昨年度に続き今年度も狭丘祭が開催でき、そして今年度は3年ぶり、在校生にとっては初めての2日間開催です。また、昨年度は行うことができなかったステージ発表も行うことになりました。これまで発表の機会を失っていた文化部にとって、久しぶりに自分たちの表現をいかに発表できる機会であり、各部ともに準備に余念がありません。とても楽しみです!

6月上旬からクラスで話し合った企画は、クラスの個性が溢れるとても素晴らしいものとなっています。久しぶりに、生き生きとした狭丘生の「熱意」を感じてください!

2025年度大学入試に向けて

～新カリキュラムを踏まえた主体的な学びや思考を育む本校の特色ある授業の取り組み～

本年度より、高等学校において新学習指導要領による教育がスタートしました。新学習指導要領では、「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力」実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」といった三つの力をバランス良く育むことを目指し、主体的・対話的で深い学び

という観点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視されるようになりました。今回は、2025年度大学入学者選抜試験において「情報」科目が導入されることを踏まえ、主要5教科に加えて情報科で展開されている教育活動をご紹介します。

2023年度入学生から、全生徒がChromebookを使って授業に臨めます!!

国語科

主任 北谷 高志



「現代の国語」では実用的な文章や評論を扱ったり、Google Workspace for Educationを活用してドキュメントを編集し、小論文を執筆したりすることで文章構成の把握力や論理的思考力の向上に努めています。「言語文化」では、文学的文章と古典を扱い、テキストの読解力とそれを支える知識の定着に重きを置いています。近年「思考力」という言葉を耳にしますが、何を思考するにしても、知識がなければ、思考を組み立てることができません。「現代の国語」、「言語文化」はもちろん、2年次以降の科目でも双方を高めることにより相乗効果



果を見込めると考えます。さらにプロジェクトが各教室に配置されたことで、生徒に資料や写真など多くの情報を与えることができるため、複数の資料を処理する能力を高め、大学入試に向けて対策をとることができています。

数学科

主任 下野 哲史



本校の数学教育は、物事の本質をきちんと捉えさせ、他の事柄に自ら応用させる力をつけることに主眼を置いて指導をしています。数学はそもそも論理的思考力を身につける教科です。公式1つとっても、その意義がしっかり理解できることやそのプロセスを理解すること、これをきちんと行っていくことで応用力が身に付き、入試問題であっても問われている本質的なことまでを理解し対応できるのです。何よりも、すべての定義は矛盾が起こらないように細部まで配慮されていること、その美しさを感じられれば、数学力は飛躍的に向上することでしょう。そのような力をつける



ために、常に自ら考えさせるように授業を進化させています。数学は紙とペンさえあればどこでもできる学問です。本校の職員室では数学の教員がいつもペンを動かしている様子を目にするでしょう。その後ろ姿は生徒にも良い影響を与えているようです。共に学び共に成長する。これが本校の数学科の指導方針です。

英語科

主任 伊藤 亮太



本校の英語教育は、「授業」・「ゼミ」・「講座」という3つの方面から、「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の英語4技能をバランスよく育成することを目指しています。Google Workspace for Educationが導入され、授業やゼミなどの連絡をオンライン上で行ったり、生徒からアンケートを取ったりすることが容易にできるようになりました。また使用した資料や撮影しておいたゼミの動画を生徒に共有することも場面に応じて行っています。中学校・高校の使用教室全てにプロジェクトが導入され、板書や教科書の内容、関連する資料を投影しながら授業をする科目があります。読んだり聞いたりした内容を、黒



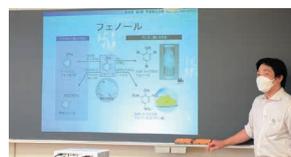
板に写して瞬時に共有し、より効率的に学習することができています。大学入試で活用される民間の検定試験に向けて、高等学校生に向けたTEAP対策講座や、付属中学校生に向けた英検対策講座を実施しています。それぞれスピーカーとライティングの分野の対策講座は、本校英語科教員と個別で、生徒に合わせて指導を行っています。Gmailなどを利用して添削した英作文についてやり取りすることもあります。

理科

主任 川久保 卓



本校の理科教育は、「科学的自然観の育成」を目指して行われています。「科学的自然観」とは、自然界における様々な事象を科学的に考察・分析し、適切に理解・活用するものの見方のことです。付属中学校では、①「より多くの実物に触れる」、②「自然における現象を実験で体験する」ことを中心に授業を展開し、「頭で考えるだけではない理科」を実践しています。具体的には、付属中学校の3年間を通して行われる「理科実習」という課外活動や、3年次には課題研究に取り組みます。課題研究では、自ら設定したテーマに沿って調査・研究を続け、その集大成としてスライド発表を行います。高等学校では、現1年生よりカリキュラムが一新されました。1年次より、物理・化学・生物の基礎を学び、進級に合わせて自分に合った学問分野を選択することで、より主体的な学びへとつながります。また、全教室にプロジェクトが配備さ



れたことから、スライドによる授業の進行が増え、実験動画や3Dアニメーションを視聴したり、実験実習やグループワークによる課題への取り組みを扱う授業が大幅に増加しました。更に、2年次以降の授業では、主に入試問題を通して高度な知識の運用の練習に取り組みます。そこで取り扱われる入試問題は、どれも各科目の担当者が精選したものです。これらの学習活動の結果、醸成された思考力・観察力・表現力が、本校において「科学的自然観」を支える柱になっているのです。

地理歴史公民科

主任 地挽 保雄



2022年度より地理歴史公民科では、新課程が実施され新しい科目での学習が始まっています。知識をきちんと習得しつつ、その知識を用いて様々な事象を考察して考える授業を本校では展開しています。本校では高校1年次に「歴史総合」「地理総合」「公共」という3教科を展開し、歴史分野・地理分野・公民分野の3分野を履修します。3分野それぞれで習得した知識を背景に、私たちの身近な諸問題について、歴史的視点・地理的視点・公民的視点という



多角的な視点から考えられる授業展開を行っています。また、身近な問題から世界的な問題への関連性を考察するなど、グローバルな視点を持つことも重要視しながら、「考え、発信できる人物」を目指しています。

情報科

主任 吉實 大輔



本校では2023年度の2学年より「情報I」を開講します。新課程には変わるものの本校では旧課程「社会と情報」のうちから充分深い内容を取り入れてきたので、概ね踏襲する形になります。指導にあたる教員は情報技術者資格を有しており、よりコアな技能を習得できるはずでです。授業時はスライドショーでの座学と、表計算やJavaScript等の演習を、WindowsのデスクトップPCを用いて行います。スマホ・タブレットには慣れていても、デスクトップPCの操作に不慣れた生徒はやはり多く、今のうちに親しみをもってほしいと願ってい



ます。「情報I」は2学年のみで終了するため、3学年では別途、共通テストの「情報I」に向けたゼミの開講を検討しています。「受験向けの勉強」に留まらず、この先の生活や活動に必ず役立つ内容の提供を目指します。